慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	中級中国語学習者の語彙学習と語の「難易度」について： 語彙論における事項からの調査と考察
Sub Title	Vocabulary learning of intermediate level Chinese language students and lexical difficulty : considerations from the perspective of the lexicology
Author	浅野, 雅樹(Asano, Masaki)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2018
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 言語・文化・コミュニケーション (Language, culture and communication). No.50 (2018.) ,p.1- 18
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032394-20181231-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

中級中国語学習者の語彙学習と語の「難易度」について

――語彙論における事項からの調査と考察――

浅野　雅樹

1. はじめに

入門から初級レベルの日本の中国語教育において，どのような語を教えるのかという問題に対して，教師の間では一定程度の共通認識があると言える。また HSK（漢語水平考試）のガイドラインなどが参照され，教育現場では実際に，一定の語句と語彙数が教えられている現状が見受けられる。日本では，日本中国語教育学会作成の『中国語初級段階学習指導ガイドライン』にて，初級レベルで学習すべき 1000 語が選定されている。

日本で使用されている初級テキストに導入される語は，各テキスト間で大きな相違は見られず，一定範囲における語が教えられていると見なせる。しかし，中級以上のレベルとなると，テキストによって，かなりの相違が見られる現状がある。学習者からは，初級レベルで基礎的な語彙をマスターした後，さらにどのような語を学習すればよいのか不明である，といった意見や質問が投げかけられることも多い。

本稿では，「語自身が持つ語彙的性質」という語彙論の観点から，「語の難易度」の測定を試みる。その上で，日本語話者の中級レベルの中国語学習者に対する語彙指導で，重点的かつ積極的に導入すべき語彙について考察を行う。筆者はこのたび，中級レベル以上の日本語を母語とする学習者（学習歴 2 年以上）に対して，二音節の実詞 100 語に関するアンケート調査を行った。調査結果についての解析に従い，実際どのような語の理解度や習得度が低いのかということを明らかにする。また，本アンケート調査の結果に依拠して，実証的方法を用いることにより，「語義の透明度」や「形態素の性質」等の「語彙的性質」が学習者の語彙の理解度と習得度に，どの程度の作用をもたらすのかということを述

べる。

2.「語の難易度」とは

語彙学習や習得の過程において，学習者がこの語は簡単であるが，あの語は難しいといった感覚を持つことはよくある。「かなり難しい」,「少し難しい」といったように難しさが，尺度化されて表現されることもある。しかしながら，学習者自身が「語の難易度」を決定している要因を追求し，それに応じた語彙学習を行うといったことは非常に稀であると筆者は考える。

学習者の語彙学習の過程で,「語の難易度」が作用するのはどのような場合であろうか。一つは，語を使用する技能の面であると言える。「読む，聴く」などの「受容語彙」,「書く，話す」などの「発信語彙」といった点からの整理も必要であるが，実際にある言語活動の中で，語を何らかの形で使用する際に,「難しい」という感覚が生ずる。もう一点は，学習者が学習上，テスト問題や練習問題を行う面である。多肢選択方式などによる語彙力を測定する問題を回答し，その後，正答を確認するという一連の学習活動において,「語の難易度」を感覚的に持つことがよくあると考えられる。

教師の側から言えば，語彙指導に際して，学習者の学習過程で難易度が高く，習得に困難を伴う語のタイプの特徴を認識し，重点的に扱うことが一つの課題となる。またそのような語を教育の場で取り上げ，積極的かつ優先的にテキストやテスト問題へ導入することが求められる。「語の難易度」は，教育現場や教育活動の実践面で,「語のレベル分け」や「教材の作成や選定」,「語彙領域のテスト問題や練習問題の作成」等に直接関わる要素である。

このような理由により,「語の難易度」に対して教師と学習者の双方が科学的な見地から一定程度の認識と把握をする必要がある。しかし,「難易度が高いのはどのような語彙なのか？」という問いの解答は決して容易に見出すことができるものではなく，一つの指標から数値化して機械的に測れるようなものではない。先にも述べたように，一般的に「語の難易度」の一つの指標として，資格試験のレベル分けが参照とされることが多い。例えば,「HSK」の語彙表では，5000 語について 1 級から 6 級までの 6 段階に分け，後ろの級に含まれる語ほど難度は高くなり，語数も増加する。ただ，日本語話者の学習者から見れば，例えば，3 級の“护照”と 6 級の“航空”を比較すると，後者は「日中同形同義語」であることから，3 級の“护照”の方が難度は高いという見方も可能である。つまり，

「同形語」の存在や漢字の知識を持つことから，一概に上の級に属する語の方が難しいとは言えない。また，これらのレベル分けは主に頻度や常用度を基準に定められている。所謂「語彙の広さ」による視点からの設定であるが，さらに，「語彙の深さ」の面の視点を加える必要性が指摘できる。例えば，3 級の“照顾”と 6 級の“照料”について，基本義の「世話をする，面倒を見る」という語義や頻度から見れば，“照料”の方が難しいと判断できる。しかし，“照顾”は，これ以外に「考慮する」や「ひいきする」など，多くの意味を持つ多義語である。このような多義性などの「語彙の深さ」からの観点によれば，一概に 6 級の“照料”の方がより難しいとは言えない。

3.「語の難易度」を決定する要素について

語学教育における指導の面では，「語の難易度」を決定する要素は，以下のように一般的に大きく三つに分けられると言える [1)]。

①語句自身が持つ語彙的性質

②教育内容，方法による影響

③学習者自身が持つ要素

上で示したは①は本稿のテーマとして扱うもので後述する。②は，ある語が実際に授業等の学習の場で導入されたものかどうかということを指す。授業等で使用される教材における明示の有無により，個々の学習者にとって，その語の難易度が異なることを指す。例えば量詞の“条”を問うような四択の空欄補充の問題に対して，学習者が“条”について既習か未習のどちらかという状況に応じて，難易度を測る必要がある。また，“条”が未習であっても，量詞や「数量＋名詞」の修飾フレーズが学習済みであるのかどうかという点も，難易度の測定の指標となる。③は学習者自身が持つ要素であるが，学習者の学習歴や学習方法，目的により，「語の難易度」が変化することを指す。とりわけ，ある領域においてのみ使用されるような特殊語彙は，その分野に関わる言語習得を目的としているか否か，ということにより語の難易度が大きく左右される。例えば，機械関係の仕事に従事する学習者で，学習の目的がビジネス上の中国語のマスターである場合は，“连接线”「配線」，“发光二极管”「LED」などの機械・電子技術関係の語彙を学習する際，その重要度

1）方绪军（2008：34-50）を参照した。また，丁崇明，陈绂主编，朱志平著（2014：35）では，「語の難易度」の決定について，おおよそ①にあたる要素を「独立変数」，②③にあたる要素を「従属変数」として解釈がなされている。

が高まる。ただ，他の一般の学習者と比べると，語の意味合いを熟知している分，これらの語に対する難易度は低下し，より簡単に発信語彙として習得できるといった状況が考えられる。

本稿では次章以降，上記の分類に従えば「①語句自身が持つ語彙的性質」に依拠し，「語形」や「語義」などの語彙論における事項を取り上げ，考察を行う[2)]。語の内因的な要素に依拠し，語の静態的特徴からの難易度の測定を試みたい[3)]。実際は，様々な要素が複合的に関係する状況でのインターフェイスから，「語の難易度」が決定されることは言を俟たないが，語彙論的性質という一側面の考察から，難易度の決定要素の一端を明らかにすることが本稿の目的である。

4. 語句自身が持つ語彙的性質から見た「語の難易度」について

ここでは，語句自身が持つ以下の四つの語彙的性質の面から，「語の難易度」を測る。主に多肢選択形式問題を使用し，具体的に個別の語の例を挙げ，「語の難易度」の設定に関する考察を行う。

4.1　形態素義と語義の関係性（語義の透明度）について

二つ以上の形態素で構成される所謂「合成語」については，形態素義と語義の関係性（語義の透明度）によって，いくつかのタイプに分けることができる。赵玮（2016：278）では，“山顶”のように二つの形態素義が足された語義になるもの「A + B → AB」。“厌倦”のように，二つの形態素義の一方が語義になるもの「A + B → A 或 B」。“反话”のように，二つの形態素義が足され，さらに別の意味が生ずるもの「A + B → AB(C)」。“碰壁”のように二つの形態素が転じて，別の語義が生ずるもの「A + B → C」という四つのタイプに分けている。この「語義の透明度」を一つの基準にして，難易度を測ると，下記のような順になる[4)]。

2）小川典子（2016）では，日本人学習者の未知語の語義推測について，語彙的性質の一つである「語構成」が作用するかという課題について論証が行われている。

3）丁崇明，陈绂主编，朱志平著（2014：44）では，「二音節語の難易度」について，難易度の数値化のモデルが示されている。主に，語の語彙的性質に依拠し，難易度が設定されている。本稿は“双音复合词语义，语用难度参数量化表”において示される項目の中で，主に“双音复合词的义项数”，“语素性质”に関する難易度の測定について，参照した。

4）许艳华（2014：17）は，以下のように透明度が高い語が学習上容易であると述べている。

【語義の透明度による難易度】

「A + B → C」 ↑（高）

「A + B → AB（C）」

「A + B → A 或 B 」

「A + B → AB 」 ↓（低）

「語義の透明度」という観点から多肢選択式の下記の（1）と（2）を比較してみる[5]。（1）の答えは「c」であるが，選択肢にある四つの語に関する「語義の透明度」は比較的高い「A + B → AB」型であり，難度は低いと見なせる。一方，（2）の答えは「b」であるが，選択肢にある四つの語に関する「透明度」は比較的低い「A + B → AB（C）」型であり，難度は高いと見なせる。実際は，文意や他の語彙的な事項が，解答選択に影響を与えることは言うまでもないが，「語義の透明性」の基準から言えば，（2）の難度は（1）と比べて高いと見なせる。

（1）学了一年半了，你的汉语水平（　　）了。

a. 高级　　b. 增高　　c. 提高　　d. 提交

（2）这批刚进外企的（　　），很快就掌握了知识和技术。

a. 拿手　　b. 生手　　c. 生机　　d. 营生

4.2　形態素の性質（自由形態素と拘束形態素）

二つ以上の形態素で構成される「合成語」については，その形態素が単独で単語にもなれる「自由形態素」と，単独では単語になれない「拘束形態素」に分けることができる[6]。朱德熙（2000：33）では「自由＋自由」型“铁路，白菜”，「自由＋拘束」型“电视，党员”，「拘束＋自由」型“石油，鲫鱼”，「拘束＋拘束」型“植物，吝啬”という四つの分類がなされている。この「形態素の性質」を一つの基準にして，語彙の難易度を測ると，下

研究普遍认为:汉语双音节合成词的识别会受语义透明度的影响，透明词语比不透明词语更容易通达。

5）本稿において示す問題例で出典が無標のものは，すべて筆者の作例で，複数のインフォーマントのチェックを受けている。また問題例に付す通し番号はすべて筆者によるものである。

6）形態素の分類については「自由形態素」と「拘束形態素」の他に，単独の使用に制限がある“半自由语素”「半自由形態素」が存在するという見方がある。许晓华（2016）を参照。本稿では，この「半自由形態素」という概念は用いず，「自由」と「拘束」の二分法で考察を行う。

記のような順になる。

【形態素の性質による難易度】

「拘束＋拘束」　（高）

「自由＋拘束」「拘束＋自由」

「自由＋自由」　（低）

「拘束形態素」は文中で，単独では使用できない。そのため，「自由形態素」のようにある形態素が単独で単語となる単音節語をすでに学習済みであり，それに応じた理解や，意味の類推という学習過程は存在しない。例えば，「自由形態素」の“甜”「あまい」と「拘束形態素」の“舒”「ゆったりする」について言えば，これらの形態素が構成要素となる，“甜点”，“甜言”，“甜品”と“舒服”，“舒畅”，“舒适”等の単語がある。前の三つは「自由形態素」の“甜”を含んだ「自由＋拘束」型，後ろの三つは「拘束形態素」の“舒”を含む「拘束＋拘束」型の単語である。“甜”は形容詞として単独で用いられるが，このことを既に学習済みであれば，これを含んだ二音節語の理解は比較的容易である場合が多く，また語義の類推も可能となる。一方，“舒”は単独で使用されることはないため，一般的に「“舒”→“舒服”」といった理解のプロセスを経ることはない[7)]。また，「拘束形態素」は書面語的な語の構成要素となる場合が多く，その分，難度は高まると言える[8)]。

上述した「形態素の性質」を基準として，文中の下線部の意味に相当するものを選択する以下の問題（3）についての難易度を測る。“城市”（自由＋自由型）の難度が最も低く，“差距”（拘束＋拘束型）が最も高く，“工人”（拘束＋自由型）はその中間に位置すると判断できる[9)]。

7）形態素の特徴による学習者の語に対する理解と習得のプロセスについては，张金竹，刑红兵（2010：123）を参照した。

8）邢红兵（2006：66）には，レベル的に上級者向けの語彙に，より多くの「拘束形態素」が語構成要素として出現する割合が高いという以下の記述が見られる。

> 甲级词中，自由语素占82%，这说明在词汇学习的初级阶段，留学生要掌握要大量的自由语素，由于这类语素独立成词，具有可称谓的特点，因而为词汇学习提供了便利的条件。但随着等级的提高，自由语素的数量急剧减少，而粘着语素的数量急剧增加，到了丁级已经达到76%，这说明随着词汇量的扩大，学生可能要面对更多的粘着语素。

9）このように「拘束形態素」で構成される単語の難易度が高いといった指標が一定程度は確立できる。ただ，漢字の知識を持つ日本語話者の学習者にとっては，字義から語の意味の類推が可能な場合がある。同じ「拘束形態素」でも“路”，“物”，“员”などは，字義からの語義の推測が比較

(3) 我们地区あ工人的生活水平与他们い城市之间肯定存在着巨大的う差距。

あ（　　）	い（　　）	う（　　）
a. 临时工	a. 历史	a. 出差
b. 体力劳动者	b. 都市	b. 不一致
c. 公务员	c. 市场	c. 任务
d. 外地人	d. 风格	d. 建筑

4.3　日本語の漢語語彙との関係性[10)]

日本語話者の中国語学習者は，中国語の語彙学習の過程で，とりわけ日本語の漢語語彙の干渉を受けることはよく知られている。日本語語彙との関係性で，中国語の語を整理すると，おおよそ「①日中同形同義語，②日中同形近義語，③日中同形異義語，④日中異形語」に分類できる[11)]。この「日本語語彙との関係性」を一つの基準にして，語彙の難易度を測ると，下記のような順になることが考えられる。

【日本語漢語語彙との関係性による難易度】

日中同形近義語　（高）
日中異形語
日中同形異義語
日中同形同義語　（低）

(4) 校长（　　）杨老师去医院看望张老师。（潘淑敏，胡晓虹 2003：325）

a. 帮忙
b. 配合
c. 协作
d. 委托

的しやすく，そのため学習者の学習後の定着度も比較的高いと考えられる。一方で，“舒”，“悉”，“厦”などの「拘束形態素」は，日本語ではほとんど使用されないため，字義からの類推が難しい。それゆえ，同じ「拘束形態素」からなる二音節語でも，字義からの推測がある程度可能かどうかという点により，その語の難易度が変化するものと言える。

10）本節の「日本語の漢語語彙との関係性から見た難易度」については，拙稿，浅野（2018）でも述べた。

11）王顺洪（2008：112）で示される分類を参照した。

(5) 我接到玛丽的电话，她说她有点儿（　　），要晚点儿来，让咱们别等她。(潘淑敏，胡晓虹 2003：264)

a. 事件

b. 事故

c. 事变

d. 事情

(6) 每天晚上十点，我都听音乐台（　　）的音乐节目。(潘淑敏，胡晓虹 2003：60)

a. 播送

b. 流传

c. 传达

d. 传播

(7) 小伙子告诉我说："（　　）玻璃。"(潘淑敏，胡晓虹 2003：157)

a. 谨慎

b. 小心

c. 慎重

d. 警惕

上の（4）から（7）の問題について，解答はそれぞれ（4）"委托"，（5）"事情"，（6）"播送"（7），"小心"である。（4）（5）の解答となる語は「日中同形近義語」，（6）は「日中異形語」，（7）は「日中同形異義語」であると見なすことができる。（4）の"委托"は日本語の「委託（する）」と語義に共通点が多いが，さらに日本語の「お願いする，任せる」に相当する意味もある。上の問題例では，この点の理解があるか否かがポイントになる。また，（5）"事情"は日本語の「事情」と比較すると，語義に共通点はあるものの，意味範囲はかなり広く，意味項目も多い。このように，共通点はあるもののわずかな差異がある「日中同形近義語」は，日本語話者の学習者が，日本語の漢語語彙による負の干渉を最も受けやすいタイプである。そのため，これらの語を問うタイプの問題も必然的に難度が高くなると言える。日本語からの干渉が強い分，例えば，（4）（5）の選択肢について，下に示すように選択肢の c を"协作"から"依赖"，"事变"から"用事"に換える，つまり文の括弧内に相当する意味の日本語と同形の語を錯乱肢に加えると，問題の難度はいっ

そう高まると言える。中国語の“委托”，“依赖”と日本語の「委託（する）」，「依頼（する）」，また中国語の“事情”，“用事”と日本語の「事情」，「用事」という 4 つの語の間に学習者の認知面で連想が発生するため，これらを的確に処理する能力が求められる。

(4)

a. 帮忙　　a. 帮忙
b. 配合　→　b. 配合
c. 协作　　c. 依赖
d. 委托　　d. 委托

(5)

a. 事件　　a. 事件
b. 事故　→　b. 事故
c. 事变　　c. 用事
d. 事情　　d. 事情

このような「日中同形近義語」については，日本語話者の学習者がすでに学習済みであったとしても，学習者の理解度や記憶の面での定着度は通常低いと見なす必要がある。したがって，「日中同形近義語」に対する日本語話者の語彙学習や語彙習得の面での重要度も高いと判別できる。(6) の“播送”のように，日本語の漢語語彙にはない語形で，しかも形態素（文字）の意味から語義が類推不可能な語については，日本語話者の学習者にとっては，零の状態からの学習となる。そのため，難度は比較的高いが，母語からの負の干渉は起きにくいため，「日中同形近義語」より，難度は若干下がると判別できる。(7) の“小心”のような「同形異義語」は，同形の日本語と語義の差異が大きい語である。日本語の干渉は多少あるものの，差異が大きい分，学習時に語義の相違をきちんと理解しておけば，後々誤用につながることは少ない。また，上に示したような問題では，文意や文脈を利用すれば，日本語と同義ではないことに気づくことは容易である。

4.4　語の多義性との関係性

現代中国語の語について，とりわけ単音節語はそのほとんどが多くの意味を持つ「多義語」であると言える。「多義語」に対する理解は「単義語」より難しいが，さらに，その意味項が多ければ多いほど，語に対しての総体的な理解が難しい。例えば，単音節の動詞である“擦”，“丢”，“发”，“逛”，“交”について，これらはすべて「HSK」の語彙表では 4 級に属し，同レベルと見なされる。「語の多義性」の観点から述べれば，《现代汉语词典（第七版）》では，「“擦”（5），“丢”（3），“发”（18），“逛”（1），“交”（10）（括弧内は意味項の数）」となっており，それぞれ異なることが分かる。“发”の多義性が強く，その次に“交”，“擦”，“丢”の順でその多義性を測れる。“逛”は一つの意味項しかないので，

多義性はなく単義である。

「語の多義性」を一つの基準にして，語彙の難易度を測ると，下記のような順になることが考えられる。

【語の多義性による難易度】

多義語（意味項の数が多い）　（高）

↕

多義語（意味項の数が少ない）

単義語　（低）

（8）我星期天饭后有时间的话，出去逛逛。

a. 工作

b. 购买

c. 散步

d. 看病

（9）他丢了手机，今天下午要去商场买一台新的。

a. 偷窃

b. 遗失

c. 弄坏

d. 卖掉

（10）老板一直不给发薪水 , 我该怎么办 ?

a. 增加

b. 交付

c. 商量

d. 经营

上の三つの問題は下線部の語の意味を選択する形式である。実際は様々な要素が作用することは言うまでもないが，「語の多義性」という指標から難易度を判定するなら，（8）の“逛”が最も低く，（10）の“发”が最も高いと見なせる。上のような問題で，意味項

の多い語が問われた場合は，その語の他の意味項の干渉を受けることがある。上の例について言うと，“发”には，「交付する」という以外にも，「発生する」，「伝達する」，「ある性質を帯びる」，「感じる」など，多くの意味がある。学習者の認知の面で，これらの意味の記憶が強すぎる場合などは，他の意味項の負の干渉を受けやすく，正答の選択にも影響を及ぼす[12)]。一方，“逛”のような単義語はそのような干渉は，通常起こり得ない。

多くの意味項がある多義語については，そのうちのどの項を測るのかということにより，難易度が変化することもある。例えば，上に挙げた“丢”については，「紛失する」，「捨てる」，「放置する」という三つの意味項がある単語である[13)]。その中で，最も常用されるのは「紛失する」であり，後の二つより常用度は高い。したがって，前項で挙げた（9）の「紛失する」という意味項の理解を測る問題と比べて，下記の（11）「放置する」という意味項の理解を測る問題は難易度が高くなるという判断が可能である。

（11） 我女儿总爱上网玩游戏，把学习丢在一边儿。

a. 有趣

b. 搁置

c. 无聊

d. 入迷

このように，とりわけ多くの意味項を有する多義語については，その意味項により，常用度に大きく差異が存在する場合は，そのうちのどの項を測るのかという点に注意することが必要となる。多義性を持ち，複数の意味項を持つ語については，さらにその意味項間の常用度が難易度を決定する要因になると言える。

二つの形態素から成る二音節の合成語についても，この多義性の面から言うと，やはり形態素の意味が多義的であるほど，難度は高くなると言える。AB という二つの形態素から構成される二音節語について，A か B のどちらかが多義性を有する形態素から成る単語は，どちらも単義的である語より，難度は高い。さらに，A と B のどちらも多義性を具える語の難度はより高くなるという判断ができる。つまり，形態素義の意味項が多けれ

12）語の内部の多義性そのものを問うテスト問題を作成するのであれば，下記のように，選択肢にはその語が持つ，他の意味項を用いることもできる。

問：老板一直不给发薪水，我该怎么办？ → a. 感觉 b. 交付 c. 运输 d. 产生

13）《现代汉语词典（第七版）》を参照した。

ば多いほど，難度は上昇すると見なせる。

5. 中級レベルの日本人学習者に対する語彙の理解度と習得度について

5.1 調査と結果

筆者はこの度，学習歴 2 年以上の主に大学で学習する学習者 40 名[14] に対して，計 100 語[15] について，その理解度や習得度を測るアンケート調査を行った。調査に用いた100語は，すべて二音節の実詞（動詞・形容詞・名詞）であり，一部を除き，全体的に中級レベルで学習すると見なされる語を中心に選定した。方式は五段階評価「①知らない，見たこともない　②見たことはあるが，（意味・用法）はわからない　③（意味・用法）はたぶん～であろうということを予測できる　④（意味・用法）を知っている　⑤この語を使って文を作ることができる」を用いた。100 語について，それぞれ被験者の自己判断により，選択をしてもらった。結果の集計については，5 段階のリッカート尺度によって数値化した[16]。

アンケート調査の結果により，平均値の数値が小さい語については学習者の理解度や習得度が低く，難度は高いと見なすことができる。反対に数値が高い語については，相対的に学習者の理解度や習得度が高く，難度は低いと見なすことができる[17]。

以下，100 語に関する平均値，中央値及び標準偏差を示す。

［词］	平均値	中央値	標準偏差	［词］	平均値	中央値	標準偏差
委屈	2.47	2	1.46	法院	2.97	3	1.34
意思	4.92	5	0.27	房屋	3.76	4	1.23

14）被験者はすべて筆者の本務校の文学部に在籍する学生である。調査時期は 2016 年 12 月から 2017 年 2 月である。40 名のうち 2 名については，平均値が 4.5 以上の天井効果があると判断したため，除外した。

15）「HSK」の語彙表と照合すると調査した 100 語の内訳は以下のようになる。（HSK級外―47 語，6 級―15 語，5 級―20 語，4 級―6 語，3 級―8 語，2 級―3 語，1 級―1 語）。

16）この 5 段階の選択肢の作成については，望月正道，相澤一美，投野由紀夫（2003：196）に示される「語彙の深さ」を測定する判定基準としてよく知られている（VKS）テストを参照した。

17）すべて被験者の自己判断によるので，被験者の誤解による回答があることは否定できない。しかし，中級レベル以上の学習者は自己の習得度や語彙能力について，ある程度のメタ認知力を有していると見なせるため，アンケート調査の信頼性が大きく損なわれることはないと判断した。

院子	3.42	4	1.65	用功	3.42	3	1.55
加强	3.05	3	1.33	料理	4.10	5	1.13
家教	3.63	4	1.28	冷门	1.66	1	1.02
海关	2.55	2	1.60	炉子	2.10	2	1.18
道路	4.48	5	0.76	老板	4.40	5	1.12
独唱	3.66	4	0.99	决赛	3.08	3	1.61
批评	4.42	5	0.79	广告	4.18	5	1.06
美德	3.48	3	1.17	气派	1.89	2	1.03
表现	4.37	5	0.88	游泳	4.84	5	0.54
富裕	4.07	4	0.85	游客	4.27	5	1.19
外企	3.18	3	1.37	增长	3.79	4	1.25
学院	3.92	4	1.04	专家	3.50	4	1.44
感激	3.95	4	0.98	严峻	2.03	1	1.32
看重	2.32	2	1.33	关头	1.84	1	1.10
眼红	2.52	2	1.24	动物	4.71	5	0.83
吉普	1.50	1	0.97	发现	4.40	5	1.12
球迷	2.50	1	1.81	审批	1.45	1	1.00
姑姑	3.55	4	1.24	开心	4.29	5	1.27
向往	3.37	4	1.26	报销	1.79	1	1.11
工资	4.37	5	1.02	揭示	3.07	3	1.26
行李	4.76	5	0.71	时髦	2.87	3	1.75
高中	4.82	5	0.56	杂技	3.55	4	1.58
合理	3.68	4	1.04	沉着	2.08	1	1.17
山顶	4.05	4	0.95	满足	3.84	4	1.24
耳光	1.82	1	1.18	灿烂	2.08	1	1.45
社团	3.37	3	1.47	爷爷	4.95	5	0.22
主持	3.03	3	1.53	环保	2.42	2	1.62
重播	2.26	2	1.40	畅销	1.79	1	1.27
出口	4.10	4	0.98	简称	3.05	3	1.54
出卖	2.92	3	1.04	获悉	1.39	1	0.71

所有	4.37	5	0.75	大厦	3.05	3	1.64
商量	4.68	5	0.78	男生	3.92	5	1.45
小心	4.76	5	0.54	中餐	4.32	5	1.09
庄稼	1.53	1	0.92	抽象	3.71	4	1.03
承认	3.37	3	1.47	低调	3.10	3	1.24
情人	3.76	4	1.17	提出	4.24	5	0.83
情报	3.50	3	1.08	天鹅	1.47	1	1.03
信号	3.89	4	1.03	点心	4.71	5	0.65
信赖	3.66	4	1.04	同事	4.32	5	1.01
生意	3.71	4	1.46	证件	2.21	2	1.31
西医	3.02	3	1.49	话剧	2.58	3	1.24
相同	3.76	4	1.32	贵重	3.93	4	0.99
多心	2.55	3	1.05	车站	4.98	5	0.22
打听	2.66	2	1.34	过时	3.32	3	1.01
大量	4.13	4	0.96	酝酿	1.53	1	1.13
部长	3.82	4	1.11	锤子	1.53	1	1.03
服务	4.47	5	0.95	难过	3.74	4	1.50
文雅	2.66	3	1.41	鸡蛋	4.03	5	1.46

5.2　考察

このたびの被験者 38 名分の 100 語に関する回答の平均値は約 3.35 であった。平均値が高い上位 10 語は「车站，爷爷，意思，游泳，高中，小心，行李，动物，点心，商量」であった。反対に平均値が低い下位 10 語は「获悉，审批，天鹅，吉普，庄稼，酝酿，锤子，冷门，报销，畅销」であった。平均値が高い語に関しては，「HSK」語彙表のレベルでも初級段階にある語が多い。平均値が低い語に関しては，全体的に“获悉，审批”など書面語的な色彩が強い語が多い。また，“酝酿，冷门”など主に慣用的な語義で使用される語が含まれる。“审批，报销，畅销”などについては，このたび調査した被験者の専攻内容との距離感がある領域の語であることが原因の一つとして考えられる。

前述したように学習者は一つの語に対して，「わかる（知っている）」と「わからない（知らない）」という二項対立で認識するのが一般的であると言える。このたび実施したア

ンケートの方式でこの点に相当するのは，おおよそ①と④になる。②，③，⑤の選択肢は，語彙学習の段階性に応じて回答をしてもらいたいという主旨で設けたものである。①～⑤の選択に作用していると見なせる要素として，まず被験者が該当する語を学習済みであるのかどうかという点が挙げられる。加えて，日本語に同形語が存在するのか，或いは漢字から語義の類推ができるかどうかという点も判断材料となっていることがうかがえた[18]。

5.3　検定

前述した語彙的性質が語の難易度に作用していることを立証するため，今回のアンケート調査の結果を用いて，以下のような統計処理（検定）を行った。

前章で挙げた4つの語彙的性質，①語義の透明度（高い語と低い語），②語を構成する形態素の性質（自由形態素からなる単語と拘束形態素からなる単語），③日本語の漢語語彙との関係性（日中同形同義語と日中異形語），④語を構成する形態素の多義性（単義性と多義性）に対して，下記のように，それぞれ2つの類群に分け，数値の群間比較（ウィルコクソンの符号付き順位検定）を行った。その結果，下記の表に示すように，すべての項目について，2つの類群で有意な差が認められた。

①語義の透明度（高い語と低い語）

（比較的高い語）：加强 看重 球迷 重播 西医 男生 部长 服务 游客 环保 中餐 难过

（比較的低い語）：用功 眼红 耳光 多心 同事 冷门 气派 关头 时髦 向往 点心 生意

②語を構成する形態素の性質（自由形態素からなる単語と拘束形態素からなる単語）[19]

（自由）：加强 看重 难过 话剧 满足 开心 发现 增长 过时 出卖 法院 社团

（拘束）：委屈 炉子 老板 气派 灿烂 环保 简称 获悉 主持 专家 商量 文雅

18）あくまでアンケートの方式に応じた結果という面に過ぎないが，この点は今回の調査結果の「標準偏差」からその一端がうかがえた。例を挙げると，“球迷，海关，眼红，多心”の四つの語の平均値は2.5前後で大差はない。ただ，“球迷，海关”の二語の標準偏差はそれぞれ1.81，1.60と比較的高く，“眼红，多心”の2語は1.24，1.05と比較的低い。これは，前者が字義から単語全体の語義を類推することは難しく，「わかる（知っている）」と「わからない（知らない）」という二項対立で判断した被験者が多く，選択肢の①或いは④⑤を選択したことがうかがえる。それに対して，後者の“眼红，多心”は主に単語を構成する形態素の字義から語義が比較的類推しやすいため，未習の場合であったとしても選択肢の②或いは③を選択した被験者が多かったと見なせる。

19）「自由形態素」と「拘束形態素」の判別は，主に『中日辞典（第三版）』（講談社）の表記に依拠した。

③日本語の漢語語彙との関係性（日中同形同義語と日中異形語）[20)]

（同形同義）：抽象 富裕 合理 广告 大量 独唱 山顶 贵重 动物 信赖 美德 杂技

（日中異形）：向往 工资 委屈 气派 游客 畅销 简称 难过 鸡蛋 打听 大厦 生意

④語を構成する形態素の多義性（単義性と多義性）

（意味項が比較的少ない）：西医 专家 部长 重播 向往 爷爷 游泳 杂技 严峻 富裕 姑姑 话剧

（意味項が比較的多い）：眼红 加强 感激 看重 多心 承认 出卖 气派 冷门 开心 老板 关头

ウィルコクソンの符号付き順位検定

	負の順位		正の順位		同順位	
	N	順位和	N	順位和	N	Z
語の透明度	9	94.5	29	646.5	0	4.002 **
自由・拘束	5	24	29	571.0	4	4.675 **
日本語との関係性	4	17.5	34	723.5	0	5.119 **
形態素の多義性	8	103.5	27	526.5	3	3.464 **

**P＜.01

6. 結語

以上，本稿では中国語学習語彙の難易度について，語彙的性質の 4 つの要素から測定を試みた。また，学習者に対するアンケート調査の結果により，語彙的性質が「語の難易度」に対して，多少の影響があることを立証した。

20)「③日本語の漢語語彙との関係性（日中同形同義と日中異形語）については，検定の結果，有意差が見られたが，「日中同形同義語」と「同形近義語：“感激，社团，承认，学院，揭示，满足，服务，表现，低调，批评，信号，情报”」についても同様の検定を行った。その結果，統計量z：1.4496，両側P値：0.1472 で有意差は見られなかった。前章で示したように，語彙論的な観点からの考察では,「日中異形語」より「日中同形近義語」のほうが難易度は相対的に高いと判別した。しかし，このたびのアンケート調査の結果に基づく検定では，「同形同義語」との比較で，「異形語」に有意差が見られ,「日中同形近義語」には見られなかった。これは, このたび行ったアンケートの方式に原因があると言える。このたびのアンケートの方式は，すべて被験者の自己内省によるものであるため，被験者が“感激，承认，表现”などについて，日本語の同形の漢語語彙との相違に気づかず，そのため④⑤の選択が多かったと推定できる。また，未習でまったく理解が不十分な語に対しても，日本語に同形の語が存在することにより，選択肢③の選択が多かったと考えられる。一方で,「異形語」については, 調査におけるこのようなノイズが生ずる可能性は低く，このたびの調査及び検定の結果に至ったものと言える。

日本の大学における中国語教育では，学習カリキュラムや授業時間の制約等の関係から，語学教育全体において語彙指導に用いる時間と労力は限定的である。ただ，学習者にとって難易度が高くなるタイプの語を教師が把握して，効率よく語彙指導を行うことが重要であることは言うまでもない。「難しい」と単に感覚的に捉えられがちで，「使用頻度」や「常用度」の面からのみ判定される傾向にある「語の難易度」について，あらゆる角度と方法から考察を加えることは，教師にとっての一つの課題である。教育や指導という面での具体的な活動において，「語の難易度」に対する知識や認識は，数多くの面で有用性がある。例えば，「学習辞書や教材の作成」，「語に対する意味解釈の方法や用例文の提示」，「語のレベル分け」，「語彙指導における導入の順序」，「学習語彙の再現性に対する必要の可否」，「語彙領域のテスト問題や練習問題の作成」などが挙げられるが，これらは中国語教育に従事する以上は，いずれも肝要で不可欠な事項として見なさなければならないものばかりである。

一つの語に対して，音声記号であるピンインを付したり，品詞の選定をしたりするように，辞書や授業用テキスト等に数値化した難易度を付すことが理想的である。とは言え，本稿でも再三述べたが，実際，「語の難易度」には様々な要素が作用するため，客観的かつ科学的な方法で，ピンインや品詞選定をするように普遍的で固定的な難易度を定めることは不可能に近い。しかしながら，理解度や習得度に伴う難易度に応じて，学習と指導の両面で重要視すべき語彙を見極めるという課題が存在する以上は，本稿で行ったような調査や考察は無駄ではあるまい。本稿で得た結論は，この課題の解決の糸口を見出す役割を担うには遠く及ばない。ただ，本研究のような「語の難易度」に対する研究の蓄積が課題解決の土台となるという確信を筆者は抱いている。

主要参考文献

方绪军 2008.《对外汉语词汇教与学》北京师范大学出版社
潘淑敏，胡晓虹主编 2003.《HSK 词汇讲练（初 · 中等）》北京语言大学出版社
刑红兵 2006.《< 汉语水平 > 词汇等级大纲》双音合成词语素统计分析《世界汉语教学》第 3 期
许艳华 2014. 复合词结构类型对词义猜测的影响《语言教学与研究》第 4 期
许晓华 2016. 影响留学生半自由语素理解的主要因素及教学对策《语言教学与研究》第 1 期
王顺洪 2008.《日本人汉语学习研究》北京大学出版社
张金竹，刑红兵 2010. 留学生语素习得路径探析《现代语文（语言研究版）》11 期
赵玮 2016. 汉语作为第二语言词汇教学“语素法”适用性研究《世界汉语教学》第 2 期
朱德熙 2000.《语法讲义》商务印书馆
朱志平 2014. 汉语双音复合词难易梯度的语义分析《面向第二语言教学的汉语本体研究》丁崇明，陈

纂主编，北京师范大学出版集团
中国社会科学院语言研究所词典编室 2016.《现代汉语词典（第七版）》商务印书馆
浅野雅樹 2018.『コンピューター適応型中国語テストの開発と検証（第 2 章分）』平成 27 年～平成 29 年科学研究費補助金　基盤研究（B）課題番号 15H03225
相原茂編集 2010.『中日辞典（第三版）』講談社
小川典子 2016. 未知語の意味推測における中国語学習者の語構成への意識調査『漢語与漢語教学研究』第 7 号，61-72 桜美林大学孔子学院
郭春貴，郭久美子 2012.『品詞別・例文で覚える HSK 基本語彙 1 級-4 級』白帝社
郭春貴，郭久美子 2013.『品詞別・例文で覚える HSK 基本語彙 5 級-6 級』白帝社
望月正道，相澤一美，投野由紀夫 2003.『英語語彙の指導マニュアル』大修館書店

【付記】本稿は 2017 年 10 月に開催された「第 9 回亜太地区国際漢語教学学会研討会」において口頭発表した内容に基づくものである。本稿は平成 30 年度科学研究費補助金（基盤研究 C「MKK371J」課題番号）における研究成果の一部である。